

<p>干 葉</p> <p>(生育状況等)</p> <p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <p>・平年並。(農林水産省 8月31日付)</p> <p>(作柄)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 9月2日～10月1日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 9月～11月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁)</p> <p>関東甲信地方は9月3日頃からかなりの高温。 (気象庁)</p> <p>向こう1か月前点米カメシシの発生が多いと予想される。 (農林水産省 8月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」 「ふさこがゆ」及び 「ふさおとし」を中心と する品種構成となっ ている。令和2年度から 新品種「陸守」の本格 栽培が開始</p>
<p>新 潟</p> <p>(生育 /作柄)</p> <p>(新発表)「こいしぶき」を中心とした早生品種では、開割れ発生危険性が高まっている。(新潟県 新潟地域振興局 8月28日付)</p> <p>(農 関) 8月24日発表の1か月(8/26～9/25)予報では平均気温は高い確率80%であることから、収穫遅延がさらに早まることが予想される。 また、早生品種は、早生品種以上に登熟初期(出穂後10日間)の最高気温が高く推移したため開割れの発生が通常より多いと想定され、さらなる発生拡大が懸念される。(新潟県農業技術センター 8月25日付)</p> <p>(南魚沼) 高温登熟により、収穫時期が早まっている。(新潟県農業普及指導センター 8月30日付)</p> <p>(この夏の高温・洪水に伴う農作物等の被害状況 8月29日現在 速報)</p> <p>・水稲(銘柄用米等含) 361ヘクタール(枯死・枯れあり、葉の萎凋) (新潟県 8月30日)</p> <p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <p>・平年並。(農林水産省 8月31日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 9月2日～10月1日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 9月～11月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は9月3日頃からかなりの高温。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月前点米カメシシの発生が多いと予想される。(農林水産省 8月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び 「こいしぶき」を中心と する品種構成で、近年 「コシヒカリ」が減少し、 収量水準の高い「ゆきん ずり」「つぎあか」「 コシヒカリ」が減少し、 収量水準の高い「ゆきん ずり」「つぎあか」 及び「みずほの輝き」が 増加傾向にある。また、 播では新品種「新之助」 (晩生種)の作付拡大を 推奨している。</p>
<p>富 山</p> <p>(生育 /作柄)</p> <p>・「コシヒカリ」等の中生品種については、梅雨明け以降の高温の影響などから、近年より5日程早く成熟期を迎えたと見込まれる。 (富山県米作改良対策本部 8月21日付)</p> <p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <p>・平年並。(農林水産省 8月31日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 9月2日～10月1日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 9月～11月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は9月3日頃からかなりの高温。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月前点米カメシシの発生が多いと予想される。(農林水産省 8月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」を中 心とする品種構成とな っているものの、近年高 温登熟でも品質が安定 している「てんたかく」 及び「てんもり」 等のトップブランドに 位置づいている「富富部」 が増加傾向にある。</p>
<p>石 川</p> <p>(生育 /作柄)</p> <p>・「コシヒカリ」等の中生品種は、梅雨明け以降の高温の影響などにより、前年より4～6日程成熟期が早まっている。(石川県 8月23日付)</p> <p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <p>・平年並。(農林水産省 8月31日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 9月2日～10月1日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 9月～11月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は9月3日頃からかなりの高温。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月前点米カメシシの発生が多いと予想される。(農林水産省 8月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び 「あかみこぼし」を中心 とする品種構成である が、近年、青オシロイ 新品種の「ひくまん丸」 が増加傾向にある。</p>
<p>福 井</p> <p>(生育 /作柄)</p> <p>・5月中旬移植「コシヒカリ」の県全体の出穂の盛期は7月27日～8月2日間で、成熟期の盛期は9月11～6日頃になる見込み。 4月末～5月上旬頃の「コシヒカリ」は登熟中期～登熟終期、5月中旬頃の「コシヒカリ」は中期、5月下旬頃の「コシヒカリ」は登熟初期～中期を迎えている。 ・出穂後や成熟期前の気温が異常に高かったことから、開割れしやすい状態になっており、籾の乾燥も進んでいる。 (水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 8月29日付)</p> <p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <p>・平年並。(農林水産省 8月31日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 9月2日～10月1日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 9月～11月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は9月3日頃からかなりの高温。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月前点米カメシシの発生が多いと予想される。(農林水産省 8月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び 「ハエエシシ」を中心 とする品種構成である 。なお、新品種である 「ほまれ」が増加 傾向にある。</p>
<p>長 野</p> <p>(生育 /作柄)</p> <p>・6月下旬以降の暑しい高温の影響で、生育はかなり遅んでいる。8月20日現在、現地の平地の早生品種(あきたこまち、美山錦 等)は登熟終期。 4月末～5月上旬頃の「コシヒカリ」は登熟中期～登熟終期、5月中旬頃の「コシヒカリ」は中期、5月下旬頃の「コシヒカリ」は登熟初期～中期を迎えている。 ・出穂がかなり早まっており、平地は4月末～5月上旬頃の「コシヒカリ」の刈り取り開始時期は、9月初旬からが予想されている。 また早生品種の刈り取り開始時期は9月下旬からが予想されている。(松本県農業技術センター技術普及課 8月21日付)</p> <p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <p>・平年並。(農林水産省 8月31日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 9月2日～10月1日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 9月～11月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁)</p> <p>関東甲信地方は9月3日頃からかなりの高温。 (気象庁)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び 「あきたこまち」を中心 とする品種構成に大きな 変化はない。播のオシ ロイ品種「ほまれ」の 導入を推進している。</p>
<p>滋 賀</p> <p>(生育 /作柄)</p> <p>・7月4月中旬以降、気温は平年並～高く、日照時間は概ね平年並～多く推移しており、作況調査の「みずかがみ」「コシヒカリ」の登熟は順調に進んでいる。 ・「みずかがみ」「コシヒカリ」の成熟期は、平年よりやや早い見込み。 ・県内ほぼ全域5月上旬移植「みずかがみ」では、成熟期を迎えており、中生品種の成熟期は平年より早まるとみられる。 (滋賀県農業技術普及センター 8月22日付)</p> <p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <p>・平年並。(農林水産省 8月31日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 9月2日～10月1日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大坂管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 9月～11月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側では平年並、太平洋側で平年並が多い見込み。 (気象庁大坂管区気象台)</p> <p>近畿地方は9月3日頃からかなりの高温。 (気象庁大坂管区気象台)</p> <p>向こう1か月前点米カメシシの発生が多いと予想される。 (農林水産省 8月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」、「キ タヒカリ」、「みずかがみ」 及び「日本晴」を中心 とする品種構成である。 近年、高温登熟に堪 えた「みずかがみ」の 作付が推進されている。</p>
<p>兵 庫</p> <p>(作柄)</p> <p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <p>・平年並。(農林水産省 8月31日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 9月2日～10月1日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁大坂管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 9月～11月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側では平年並、太平洋側で平年並が多い見込み。 (気象庁大坂管区気象台)</p> <p>近畿地方は9月3日頃からかなりの高温。 (気象庁大坂管区気象台)</p> <p>向こう1か月前点米カメシシの発生が多いと予想される。 (農林水産省 8月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」「ヒノ ヒカリ」「キタヒカリ」 及び「山崎」を中心と する品種構成である。 「きぬむすめ」の作付 拡大を推進している。</p>
<p>岡 山</p> <p>(生育 /作柄)</p> <p>・「イネ(晩生種)」の生育は平年並である。(岡山県病害虫防除部 8月29日付)</p> <p>・早生品種は、既に一部で成熟期を迎えている。中生品種の「きぬむすめ」は、既に出穂が始まっており、「ヒノヒカリ」はこれから出穂期を迎える。 (岡山県農林水産総合センター・岡山県農業技術推進会議 8月22日付)</p> <p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <p>・平年並。(農林水産省 8月31日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 9月2日～10月1日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 9月～11月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>中国地方は9月3日頃からかなりの高温。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>向こう1か月前点米カメシシの発生が多いと予想される。(農林水産省 8月9日付)</p>	<p>・「アケボノ」、「きぬむ すめ」、「コシヒカリ」 「あきたこまち」及び「 ヒノヒカリ」及び「きぬ むすめ」を中心とする品 種構成である。 近年、「きぬむすめ」 が増加傾向となっている。</p>
<p>広 島</p> <p>(作柄)</p> <p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <p>・やや不良。(農林水産省 8月31日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 9月2日～10月1日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 9月～11月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>中国地方は9月3日頃からかなりの高温。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>向こう1か月前点米カメシシの発生が多いと予想される。(農林水産省 8月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」、「あ きざかり」及び「ヒノヒ カリ」を中心とする品種 構成である。</p>

(生育状況等)			
愛 媛	<p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やや良。(農林水産省 8月31日付) <p>(作柄)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月2日～10月1日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>四国地方は9月3日頃からかなりの高温。(気象庁松山地方気象台)</p> <p>向こう1か月斑点葉カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 8月9日付)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」への品種変更が定着してきている。</p>
高 知	<p>【作柄の良否】(見込み) (普通栽培) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平年並。(農林水産省 8月31日付) <p>【早期栽培の作柄概況】(予想収量) (8月15日現在)</p> <p>(作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作況指数 101。(農林水産省 8月31日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月2日～10月1日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>九州北部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>九州北部地方は9月3日頃からかなりの高温。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月斑点葉カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 8月9日付)</p>	<p>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。</p>
福 岡	<p>(8月18日現在)</p> <p>【早期水稲(夢つくし、コシヒカリ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月中下旬頃の「夢つくし」「コシヒカリ」の成熟期は平年に比べてやや早く、収穫作業は8月16日頃から本格化した。 ・台風による倒伏は少なく、収量は平年並と見込まれるものの、登熟期が高湿で経過したため、白米熟粒の発生が多い見込み。 ・イネカメムシによる吸汁害の発生も一部で見られ、収量及び品質の低下が懸念される。 <p>【普通水稲(夢つくし、元気つくし、ミノヒカリなど)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂期は、6月10日頃「夢つくし」が8月8日、6月中旬頃「元気つくし」が8月19日頃で、平年並の見込み。 ・トビイロウンカや黒いもちの発生は平年より少ないものの、イネカメムシの発生が一部地域でやや多い。 ・「夢つくし」の登熟期は、平年並からやや早いと予想され、収穫は9月中旬が、最盛期となる見込み。 <p>(福岡県農業総合試験場 8月21日付)</p> <p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やや不良。(農林水産省 8月31日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月2日～10月1日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>九州北部地方は9月3日頃からかなりの高温。(福岡管区気象台)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「元気つくし」が増加傾向になっている。種では「夢つくし」の拡大を推奨している。</p>
熊 本	<p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平年並。(農林水産省 8月31日付) <p>(作柄)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月2日～10月1日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>九州北部地方は9月3日頃からかなりの高温。(福岡管区気象台)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「森のくまさん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。「くまさんの輝き」はリーディング品種として取扱いが年々拡大している。</p>
宮 崎	<p>【作物の生育状況(8月上・中旬)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通水稲は幼穂伸長期～穂ばらみ期(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 8月28日付) <p>【作柄の良否】(見込み) (普通栽培) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平年並。(農林水産省 8月31日付) <p>【早期栽培の作柄概況】(予想収量) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作況指数 102。(農林水産省 8月31日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月2日～10月1日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>九州南部地方は9月3日頃からかなりの高温。(気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みどり38」への作付誘導が進められている。</p>
鹿 児 島	<p>【作柄の良否】(見込み) (普通栽培) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やや不良。(農林水産省 8月31日付) <p>【早期栽培の作柄概況】(予想収量) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作況指数 102。(農林水産省 8月31日付) <p>(作柄)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月2日～10月1日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>九州南部地方は9月3日頃からかなりの高温。(気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<p>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、収量水準の高い「なつほのか」への移行が急進に進んでいる。</p>

注1：県及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を掲載情報欄で取り纏め。
注2：生育状況等(農林水産省発表資料の抜粋)については令和5年8月31日 16時時点での取り纏め。
注3：更新箇所は赤字で示した。

引用資料:

9月の営農対策(北海道農政部 8月25日)、
稲作生産情報第7号(青森県「攻めの農林水産業」推進本部 8月30日)、
農作物技術情報第6号水稲(岩手県 8月29日)、
令和5年度宮城県米づくり推進本部情報第2号「良食味・高品質米生産のための適期刈取りについて(宮城県8月18日)、
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 8月31日閲覧)、
おいしい米づくり情報第12号(山形県庄内総合支庁農業技術普及課 8月31日)、
米づくり技術情報No.16(山形県 8月25日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 8月29日)、
高温・湯水に伴う農作物等の被害状況について(速報)(新潟県 8月30日)、
阿賀野市旧安田町フェーン・コメの高温障害危険度予測情報(新潟県新発田地域振興局 8月28日)、
稲作情報No.8(長岡農業普及指導センター 8月25日)、
南魚沼産コシヒカリ生育速報No.8(南魚沼農業普及指導センター 8月30日)、
水稲の適期収穫等について(石川県 8月23日)、
稲作情報No.18(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 8月29日)、
令和5年作物技術普及情報第13号(松本農業農村支援センター 8月21日)、
令和5年度水稲生育診断情報No.5(滋賀県農業技術振興センター 8月22日)、
水稲(中生・晩生品種)の高温障害回避の技術対策について(岡山県農林水産総合センター、岡山県農業気象技術担当者会議 8月22日)、
令和5年度病害虫発生予報第6号(岡山県 8月29日)、
福岡県の主な農作物の生産状況(令和5年8月18日現在)(福岡県農林業総合試験場 8月21日)、
令和5年度病害虫発生予報第5号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 8月28日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(8月31日札幌管区气象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(8月31日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(8月31日気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(8月31日新潟地方气象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(8月31日大阪管区气象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(8月31日広島地方气象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(8月31日高松地方气象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(8月31日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(8月31日鹿児島地方气象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(8月22日札幌管区气象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(8月22日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(8月22日気象庁)、
北陸地方こう3か月の天候の見通し(8月22日新潟地方气象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(8月22日大阪管区气象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(8月25日広島地方气象台)、
四国地方こう3か月の天候の見通し(8月22日高松地方气象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(8月22日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(8月22日鹿児島地方气象台)、

早期天候情報(8月28日14時30分 気象庁)、
エルニーニョ監視速報(No.371)について(気象庁 8月10日)、

令和5年産水稲の8月15日現在における作柄概況(農林水産省 8月31日)、
令和5年度病害虫発生予報第6号(農林水産省 8月9日)、
令和5年産水稲の10a当たり平均収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月15日)